

令和 5 年度における地域包括支援センター等の評価結果等を踏まえた取組状況について

令和 5 年度の地域包括支援センター（以下「センター」という。）等の評価点が低かった項目やヒアリング等におけるセンターからの要望を踏まえて、次のような取組を行った。

1 区レベルの取組

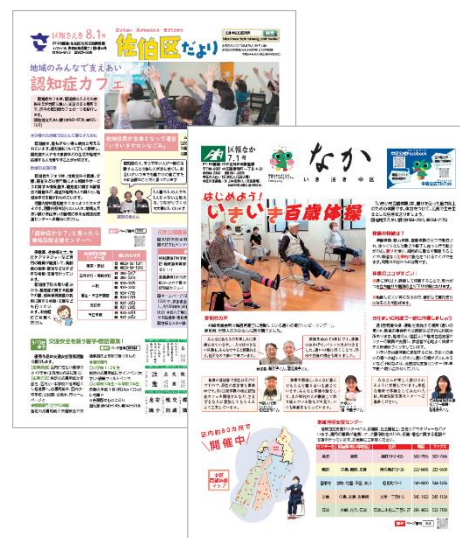
(1) 各区において改善に向けて取り組む評価項目に関する改善策等の実施

令和 6 年 9 月から 11 月に開催した各区地域包括支援センター運営協議会において、区内の半数以上のセンターが「2 点」以下であった評価項目に対する、改善策等について検討した。別紙 1 のとおり、区地域支えあい課が定期的に指導を行うなど、改善に向けて取組を実施している。

(2) 地域包括支援センターの広報

各区地域支えあい課において、次の取組を実施した。

- ・ 本市広報紙への掲載
- ・ 区内の防災イベントや地域の祭り等に参画し、センターの役割についてのパネル展示やチラシの配布



2 市レベルの取組

(1) 地域包括支援センターの広報

別紙 2 のとおり。

(2) センター職員研修会、センター長研修会の開催

センター職員については、センターへの聞き取りや個別に実施したアンケート調査を踏まえ、地域活動の基本となる地域診断について改めて学ぶ研修会を 2 課程に分けて行った。

センター長については、過去の研修会後のアンケート結果や、センターの評価に係るヒアリング等を通して把握した課題から、他のセンター長とのネットワークを深めて不安や悩みを共有し、精神的な負担感を軽減して今後の組織マネジメントを行っていくことができるよう、強みに着目したマネジメントについての講義と情報交換を行った。

区 分	日 時	開催方法	テーマ	参加者数
センター 職員研修会 (1 課程目)	11 月 27 日 (水) 14:00～16:00	オンライン	地域診断について ～コミュニティ・アズ・パートナーモデル を活用して地域を知る～ (講師：日本赤十字広島看護大学 地域看護学 准教授 金藤 亜希子 氏)	137 名
センター 職員研修会 (2 課程目)	12 月 12 日 (木) 14:00～16:00	オンライン	地域診断を活用した取組事例 (発表者：地域包括支援センター センター長 3 名)	133 名
センター長 研修会	10 月 16 日 (水) 14:00～17:00	対面	強みを生かす人材マネジメント (講師：広島産業保健総合支援センター 産業保健相談員 森田 由美子 氏)	65 名

(3) 地域包括支援センター活動発表会の開催

センター等における先駆的な活動状況等を発表し、共有するとともに、学識経験者からの助言を受けることで、業務の質向上や活動の活性化を図ることを目的として開催した。

センター等の活動を広く共有する観点から、地域包括支援センター運営協議会委員やセンター等と連携して地域住民の支援を行う相談員等に傍聴の案内を行った。

日 時	開催方法	発表者等	参加者・傍聴者数※
1 月 24 日 (金) 14:00～16:30	オンライン	・ センター職員 5 名 ・ 認知症地域支援推進員 1 名 (アドバイザー：広島大学 医学部 客員教授 坂井 晶子氏)	【参加者】 208 名 【傍聴者】 55 名 (申込者数)

- ※ 参加者 ・ センター職員、認知症地域支援推進員、各区地域支えあい課職員
傍聴者 ・ 広島市地域包括支援センター運営協議会委員
・ 各区地域包括支援センター運営協議会委員
・ 生活支援コーディネーター（区社会福祉協議会）、在宅介護指導員、相談支援包括化推進員、障害者基幹相談支援センター職員等、センター等と連携して地域住民の支援を行う相談員
・ 発表内容に関わる地域団体等の関係者